

60代、70代、80代の方が集うシニアの学び舎

第43期 学生募集案内



仲間をつかって
健康寿命を
延ばそう！



滋賀県 レイカディア大学



みんなでつくろう！「健康しが」

～人生100年時代を健やかに～

滋賀県知事 三日月 大造

滋賀県では、「健康しが」をキーワードに、人も社会も自然も健康で持続可能な共生社会の実現に県民の皆様とともに取り組んでいます。

人生100年時代を迎え、知識や経験が豊かなシニアの皆様が、地域や人とつながり、生きがいを実感しながら社会で活躍いただくことは、「健康しが」をもう一歩進め、高めるためになくてはならないものと考えています。

皆様が、滋賀県レイカディア大学で新たな学びを得て、仲間と出会い、交流を広げ、地域づくりの担い手として活躍されることを期待しています。

一緒にがんばりましょう！

募集期間

2021年6月1日(火) ～8月10日(火)

ご応募
お問合せ



草津校 077-567-3901 (平日 9時～17時)

(〒525-0072 草津市笠山7丁目8-138 県立長寿社会福祉センター内)

米原校 0749-52-5110 (火～土曜 9時～17時)

(〒521-0016 米原市下多良2丁目137 県立文化産業交流会館内)

(指定管理者)

滋賀の縁創造実践センター
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

滋賀県レイカディア大学設置の趣旨

人生100年時代を迎え、また高齢者の社会参加への意欲の高まりに応え、高齢者が新しい知識、教養と技術を身につけ、地域の担い手として活躍できるよう支援するため、滋賀県レイカディア大学を開設しています。

「レイカディア」とは？
 “レイク(湖)”と“アルカディア(古代ギリシャの理想郷とされた地名)”を組み合わせた造語で《湖の理想郷》という意味です。

2年間の学び

レイカディア大学では、2年間の“学び”を通して、仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりをすすめています。卒業後は学んだことを生かして充実した生活を送る方が多くいます。



① 必修講座 (88時間/年)
 ② 選択講座 (88時間/年)
 ③ 学校行事 (24時間/年)

【2年間の学び】▶ 仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり

仲間とともに、
 地域とともに、
 豊かなくらしを

① 必修講座

- 必修講座は、草津校、米原校それぞれで、全学生が受講します。
- シニアに必要な知識や教養などを座学で学び、月に2～3回開講しています。
- 座学以外にも、ボランティアや地域の活動を体験的に学ぶ「地域活動体験学習」や、県内名所等での「校外学習」など、多彩な講座を受けることができます。

開講曜日 草津校：金曜日、米原校：木曜日

講座テーマ（過去の例）

基本的には草津校・米原校同じ内容です。

歴史	明智光秀と織田信長～光秀は近江を欲した～
健康	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために
生き方	自分史をつくってみよう エンディングノート ～私の整理帳～
福祉	ケアメンを生きる ～男性介護者100万人へのエール～
地域	高齢者から発信！世代をつむぐ、三方よしの地域づくり
地域振興	古民家を活用したまちづくり
防災	減災めざして備えと構え
社会参加	高齢期をもっと豊かな時期にするために
国際	遊牧民の暮らしと生き方 ～‘持つ’日本人と‘持たない’モンゴル人～

授業の様子



草津校



米原校

② 選択講座

- 出願時に学科を選択し、入学後は2年間、20人程度のクラス単位で学びます。
- どの学科も基礎的な内容から始まるので、初めての方でも安心して知識・技能を学べます。
- 授業は、月に2～3回で、教室での座学から、校外学習、実技など学び方もいろいろあります。

園芸学科

草津校 開講曜日 月・水コース 米原校 開講曜日 火か水か金

● 学科紹介

講義と実習で園芸に関する知識・技能を習得します。花壇の整備や樹木の剪定、野菜作りなどの授業があり、学んだ知識は様々な活動に役立ちます。

● 授業内容 (例)

花の育て方、ガーデニング、家庭菜園と土づくり、果樹栽培の基礎、樹木の観察・剪定、巨木を訪ねる

● 先輩の声 〈心ウキウキ気も若返る日々〉

花の寄せ植えや盆栽づくり、季節に応じた樹木の剪定、肥料施し土を耕し種播きやがて日に日に育つ花苗や野菜観察の日々です。仲間とワイワイガヤガヤ言いながら没頭できる時は歳忘れまさに童心の気分です。花樹や野菜作りをたのしい仲間と学びませんか。きっと心ウキウキ若返りますよ。



- 卒業後の活動事例 (調査結果の一部を紹介) 花壇整備、環境整備、里山保全、除草作業、剪定作業、希少植物の管理、自治会活動、福祉関係など

陶芸学科

草津校 開講曜日 [1年] 月(水) [2年] 水(木)

● 学科紹介

陶芸に関する基礎的な知識・技能の習得からはじめます。土揉み、手捻り、作陶、素焼き、施釉、本焼きの一連の工程を繰り返し、陶芸の技能を学びます。

● 授業内容 (例)

作陶の基礎 (手捻り等)、基礎実習 (花器等)、釉薬の基礎知識、窯元見学等の校外学習

● 先輩の声 〈同世代との楽しい学び〉

今までとは違った新しいことに挑戦してみたいと思いたち、陶芸にたどり着きました。初心者でしたが基本からじっくりと学べたこと、そして同世代の仲間とともに陶芸を楽しめたことが何よりの収穫でした。今では地元で陶芸を楽しむ仲間づくりに挑戦しています。



- 卒業後の活動事例 (調査結果の一部を紹介) 陶芸関係、陶芸指導、除草・剪定、子ども食堂、子育て支援、高齢者福祉、傾聴ボランティアなど

びわこ環境学科

草津校 開講曜日 水

● 学科紹介

自然と環境をテーマに、講義とフィールドワークで学習します。自然に優しい暮らしや水質保全、里山保全など、暮らしや地域に活かせる知識が学べます。

● 授業内容 (例)

ホテルと環境、琵琶湖の生物、滋賀の気象、身近な環境問題、里山保全、食品の安全性、野鳥観察

● 先輩の声 〈琵琶湖の自然と暮らしを学ぶ〉

琵琶湖は滋賀の暮らしを支える自然の恵みの源です。その恵みに生かされていることを実感できる学科です。針江の郷、湖北野鳥センターなど講座の半分は校外学習で、湖周を巡り地元の方の話を聞くことができます。一緒に自然と暮らしに触れて、ともに歩む仲間との出会いを楽しみませんか。



- 卒業後の活動事例 (調査結果の一部を紹介) 環境保全活動、竹林整備、里山保全、森づくり活動高齢者福祉、防災関係、防犯パトロールなど

- 2年次には、グループで協力しながら“学びの集大成”として「課題学習」に取り組めます。
- 選択講座がきっかけで、卒業後も継続的にそのテーマに取り組んでいる方も多いようです。

地域文化学科

草津校 開講曜日 火



● 学科紹介

歴史、文化、自然、文学、民俗学、まちづくりなど、講義と校外学習を通して幅広く学び、地域を知ります。2年次に地域にまつわる紙芝居づくりに挑戦します。

● 授業内容 (例)

中山道に行く、滋賀の文学風土、民俗資料の収集、湖国の戦国史、伝承技法（紙芝居）、まちづくり講座

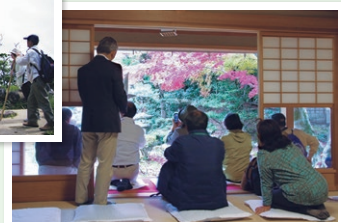
● 先輩の声 〈何物にも代えがたい体験〉

地域文化学科では、滋賀の豊かな歴史・文化のページを楽しくひも解いています。講師の魅力あふれる話に昔の出来事がリアルに甦ってくるから不思議です。皆さんも生きた勉強を一緒にしてみませんか。興味は尽きず何物にも代えがたいものですよ。

- 卒業後の活動事例（調査結果の一部を紹介）
観光ガイド、環境保全活動、広報誌編纂、まちづくり活動、図書館ボランティア、登下校時の見守りなど

北近江文化学科

米原校 開講曜日 火か水か金



● 学科紹介

近江八幡以北の北近江に関する歴史や文化、伝承技法などの講義とフィールドワークを通じて地域づくりを学びます。紙芝居づくりに挑戦します。

● 授業内容 (例)

小谷城、北近江の自然・歴史・街道・戦国史、民俗資料の収集、伝承技法（紙芝居）、まちづくり講座

● 先輩の声 〈北近江の歴史と文化を学ぶ〉

北近江に住みながら、あまりに知らなさ過ぎた北近江の歴史と文化。学んでいくうちにもっと知りたいという学習意欲が湧いて、ますます楽しくなってきました。また、知り合った仲間と和気あいあいと学べることも素晴らしく、学習する楽しさを是非体感してみてください。

- 卒業後の活動事例（調査結果の一部を紹介）
観光ボランティア、まちづくり活動、イベント出演、高齢者福祉、清掃・除草活動、骨髄バンク啓発など

健康づくり学科

草津校 開講曜日 月か火か水 米原校 開講曜日 水か金



● 学科紹介

高齢期を安心して暮らすための知識と楽しく体を動かす実技を学び、健康づくりに取り組みます。

2年次には学びを活かすサロン実習があります。

● 授業内容 (例)

高齢期の健康づくり、健康と運動・食生活・睡眠、笑って健康、内臓脂肪と運動、心の健康、脳の活性化

● 先輩の声 〈素晴らしい仲間とともに〉

入学して多くの仲間と出会い、愉快で素晴らしい友達がこんなにたくさんできるとは、想像もしていませんでした。この感謝の気持ち、そして学べる喜びを実感しながら、さらに新しい交流の輪を広げてアクティブシニアとして活動していきたいと思います。

- 卒業後の活動事例（調査結果の一部を紹介）
健康体操・100歳体操支援、レクリエーション活動、あいさつ運動、子どもの見守り、高齢者福祉、傾聴など

③ 学校行事

- 学校行事は、学生の皆さんが何か月も前から計画し、協力し、作り上げるものです。(式典以外) 他の学科や学年の人と仲良くなったり、すごい特技の人と出会えたり、準備をすすめるイベントを実施することは大変ですが、大きな達成感が得られるようです。



● 入学式



● ニューススポーツ大会



● 大学祭



● ボランティアの日



● 卒業式

学生生活

授業日のスケジュール (草津校例)



充実した時間を過ごしています！



草津校



米原校

課外活動

※ 草津校・米原校で内容は変わります

- **委員会活動** (草津校：授業前、米原校：授業後)
文化委員、体育委員、情報委員、課題学習委員、地域活動体験学習委員の活動があります。
- **クラブ活動** (自由参加) ※ 草津校：授業日
米原校：授業日以外
フォトウォーク、卓球、絵手紙、絵画、囲碁、書道、城郭探訪、淡海名木会など
- **自由参加講座**
在学生向けに、卒業生が自主的に企画・実施する講座。参加は自由です。パソコン教室や、蕎麦打ち、挿し木、工場見学、ノルディックウォーク体験などの講座を開講しています。(テーマはその都度設定)



● クラブ活動



● パソコン教室

感染症予防対策について

- レイカディア大学では、独自の「新型コロナ対策ガイドライン」に基づき、学生の皆さんの安全・安心のため、大学運営において感染症予防対策を徹底しています。
- 新型コロナの影響が終息するまで、必修講座は「自宅でのオンライン受講」が可能です。(予定)



必修講座のみ



健康観察の徹底



感染症対策の徹底



授業時の3密回避の徹底

在学生インタビュー

レイカディア大学での学生生活を「みんなで楽しもう！」

草津校



■ レイカディア大学に入学した理由を教えてください

陶芸の技術を学ぶだけでなく、“仲間づくり”などもできることから、一般の陶芸教室ではなく、レイカディア大学に入学しました。

■ 陶芸学科の授業や学生生活はどうか

レイ大の陶芸学科は、「陶芸の基本的な技能を学べる」と思ってください。だから全くの初心者でも大丈夫ですよ。クラスには、陶芸の経験者も、全くの初心者もいますが、和気あいあいと、助け合いながら作品作りを進めています。

入学当初にクラスの学生の中から1人、代表となる学科長を決めるのですが、なぜか周りから推薦され、今、学科長をしています。みんなが協力的で、フォローもしてくれて、何とか務まっています。

クラスでは、「みんなで楽しもう！」をスローガンに、陶芸を楽しみ、学生生活を楽しんでいます。

■ 入学志望者の方へメッセージをお願いします

授業以外でも、クラスの人たちがつながる工夫をしています。例えば、オカリナ作り！陶芸でオカリナを制作し、音階を調整し、楽しんでいます。今後の大学祭や陶芸展などでも活用していくつもりです。

あとは、“メダカの飼育”や“蓮の栽培”などの趣味の話をきっかけに、仲間が広がりました。メダカや蓮は、すごく楽しいですよ！話せば長くなるので、興味がある人には、入学したらいろいろ教えてあげましょう。

また、卒業された先輩方にも素晴らしい人が多いです。学生のうちからそういう人たちと知り合える機会があるので、積極的に参加しています。

このように、レイ大の良さは、学習だけではなく、クラスや他の学科や、先輩たちとのレイカディア大学を核とした人の輪が広がること、生きがいづくりや健康づくりにもつながり、かけがえのない財産になると思います。



陶芸学科 第42期生 小林 正幸さん



仲間と学んだことや楽しみを共有し、 友情を深めることができるシニアの学び舎です

米原校

■ 卒業を間近に控えた今の率直な感想を教えてください

「やっと！」と「もう！」という気持ちが半々ですね。特に去年は、コロナ禍のために半年間休校となり複雑な感じもありましたが、モチベーションは途絶えることなく、2年半を通して有意義な学生生活を過ごせました。

■ 米原校での2年間の大学生活はどうでしたか

授業は、カリキュラムがキチンと編成されていて、選択講座と必修講座に区分されているので、メリハリがあって、学習しやすかったです。健康づくりの選択講座では、健康や栄養などの講座に加え、フィジカルな面についてもより専門的に学ぶことができました。必修講座では、人権や文化など多岐に亘って、楽しく知識を深めることができました。

米原校は、少人数ですが、その分お互いに深く関わることができアットホームなところが魅力だと思います。また、自然豊かな環境の中で、冬場は1～2回は雪で休校になるかも…（笑）他にも、クラスの仲間と旅行に行ったり、クラブ活動では、学科を越えた仲間と巡り合えました。



健康づくり学科 第41期生
廣田 万利子さん



■ レイ大での経験は、今後の人生にどのような影響があると思いますか

以前は「地域貢献」などについては、あまり関心がありませんでしたが、レイ大で学ぶにつれて、地元にも少しでも寄与できればとの思いからボランティア活動に繋がり、今後も頑張ろうという気持ちになりました。入学後に地元（東近江市や愛荘町周辺）の観光ボランティアを始めましたので、卒業後も前向きに関わっていきたいと思っています。

■ 入学志望者の方へメッセージをお願いします

レイ大は、楽しい仲間と学んだことを共有し、楽しみを共有し、友情を深めることができるシニアの学び舎です。健康と長寿を目指して頑張りましょう。

卒業生インタビュー

もっと多くの女性に入学してもらいたい！

地域文化学科卒業 第40期生 園田 明美さん

● レイカディア大学での学生生活はどうか

観光ボランティアガイドを入学前からやっていたこともあり、地域文化学科を志望しました。1年目は公開抽選にはずれ、2年目によりやく入学となりました。

卒業して1年半になりますが、振り返ってみると、クラスはいつも活気にあふれていました。校外学習の時など、体力的にしんどいことはたまにありましたが、心のしんどさは全然なかったです。2年間の学習期間は、入学前は長く感じるかもしれませんが、実際にはちょうど良かったです。楽しく学びながら、かけがえのない仲間をつくるためにはね。

また、家族や職場とは違う“フラットな空間”がすごく楽しかったです。仕事や年齢の上下関係がなく、純粋な人と人の関係性が心地良かったですね。今もクラスの仲間とはつながっていますよ。



● レイカディア大学へ期待することはありますか

私のクラスでは、24名中6名が女性でした。男性が多くて苦勞したことは特になのですが、せめて半数くらいは女性がいてもいいと思います。何と言っても女性活躍の時代ですから。

他のシニア大学では女性が多くいるようですので、レイ大にはもっともっと女性に入学してもらいたいと思います。クラスがにぎやかで活発になりますし、何より女性がいないと“華”がないですから(笑)



● 今後の抱負をお聞かせください

観光ボランティアは、レイ大での新たな仲間と一緒にこれからも続けていきたいです。他にも、傾聴や脳活教習の講習を受けたりして、学びの継続は心がけています。私は何でもやりたがりなので、これからもやりたいことをできるよう、健康には気をつけながら、これからの長い人生を活発に、感謝を忘れず過ごしていきたいです！

レイ大で学んだ「ボランティアの心」を 広げたい！

地域文化学科卒業
第39期生
西畠 正美さん



● 入学のきっかけを教えてください

家内の父親や親族がレイカディア大学に意気揚々と通っていたことを知っていたからです。自分もその年齢になり、会社を退職して3日目に家内と一緒に入学しました。

● 在学中の1番の思い出はどのようなことですか

どれが1番かは難しいですが、選択講座の成果発表ですかね。地域文化学科では、2年目に手作り紙芝居を作成しました。作画などの慣れないことも多く、本当に出来上がるのか不安でしたが、先生の指導を仰ぎながら作業を進め完成することができました。そのときの達成感は今でも忘れることはありません。

その後もこの紙芝居を持ってお年寄りのサロンやこども園の公演に行くなどフル活用しています。参加者とのふれあいは毎回感動の連続です。



● レイ大とお仕事との両立は大変でしたか

各学科の授業日や学校行事などの年間スケジュールは当初から決まっているので、自分のスケジュールを調整することができ、特に問題はありませんでした。

● 卒業後はどのような活動をされていますか

1週間のうち2～3日は、市から指定管理を受けた地元体育施設の管理運営に従事する傍ら、障害者スポーツ普及指導員として活動をしています。それ以外の日は、「胎内仏資料館」(世界一小さな資料館)の館長でもあることから来館客の説明にあたっています。これらのボランティア活動は、今後も広げていきたいですし、レイ大で学んだ者としての責務かとも思っています。

● レイ大での学びはどのように役立っていますか

私は、地域文化学科で学んだ紙芝居をはじめ発表に使った資料をそのまま地域のサロン会などで使っています。家内も学んだことを少しでも地域に還元したいとの思いで活動しているようすし、以前は仰々しく思われていたボランティア活動に自然に入れるようになったことが、1番の学びであったように思います。

◇◇◇ レイカディア大学関係の卒業生組織・団体 ◇◇◇

● 同窓会

卒業生の団体で、県内全域に9支部を擁し、会員数は約1,500名。会員同士の親睦・交流や各地域でのボランティア活動による地域貢献を行っています。

● サポートの会

レイカディア大学の運営支援や学生サポートを行う卒業生の団体。草津校、米原校にあり、大学事務局と協働し、活動しています。

● レイカディアえにしの会(NPO法人)

卒業生・在学生の有志で構成され、多様なボランティア活動を通して県内各地域における社会貢献を目指しています。

1 入学資格

- 県内に居住し、2021年10月1日現在において60歳以上の方
- 大学設置の趣旨（地域の担い手として活動すること）を理解し、地域において積極的に活動を行っている方、または行おうとしている方で、卒業後、学習の成果を活かした地域活動等に意欲がある方
- 通学および各種講義に出席できる健康を有する方（学科により軽度のスポーツや運動、山歩きなどがありますが、無理のない範囲で受講できます。）

リカレントコース

（左記に加え、下記の要件も必要です）

- 卒業後2年を経過された方（第40期生まで）
- 卒業学科への応募（入学）はできません
※ 地域文化学科（草津校）と北近江文化学科（米原校）は同一学科とみなします

2 学科別募集定員、修業年限

学 科	定 員 (人)	
	草 津 校	米 原 校
園 芸 学 科	50 (10)	30 (5)
陶 芸 学 科	25 (5)	—
びわこ環境学科	25 (5)	—
地域文化学科	25 (5)	—
北近江文化学科	—	20 (5)
健康づくり学科	20 (5)	20 (5)
計	145(30)	70 (15)

※（ ）は、リカレントコース

- 学習期間 2年間（2021年10月～2023年9月）
- 講座時間 1日4時間（10時～12時、13時～15時）
- 登校日 必修・選択講座を合わせて月5～6日

3 授業料等

- 各学年 前期25,000円、後期25,000円（年間50,000円）
- 一旦納付された授業料は、理由の如何にかかわらず返還しません。
- 学習に要する教材費、傷害保険料、見学・研修の経費および自主活動に要する経費等は学生の自己負担となります。（年間2万円～8万円程度が必要です。金額は学年・学科により異なります）

リカレントコース

- 受講方法が選択でき、授業料は次のとおりです

受講方法		授 業 料
①	必修講座・選択講座 両方受講	前期・後期 各20,000円 （年間 40,000円）
②	選択講座のみ受講	前期・後期 各15,000円 （年間 30,000円）

4 出願手続き

(1) 入学願書の提出

次の書類を滋賀県レイカディア大学に送付してください。〔持参可〕

① 滋賀県レイカディア大学入学願書（様式1）

② お尋ね（願書裏面の様式2）

〔送付先〕 滋賀県レイカディア大学 「入学願書在中」
草津校または米原校 （住所は、表紙を確認してください）

※入学願書等は「びわこシニアネット（<http://www.e-biwako.jp>）」からもダウンロードできます

(2) 募集期間（入学願書受付期間）

2021年6月1日(火)から8月10日(火)まで（必着）

リカレントコース[入学願書]

- 「滋賀県レイカディア大学リカレントコース入学願書」のみ
※願書は、電話での請求またはホームページから入手してください

5 入学の決定

- 入学資格を満たした応募者が定員を上回った学科は、公開抽選を行うことがあります。
- 公開抽選で入学とならなかった場合は、第2希望の学科への入学について本人に意向確認をします。（定員に満たない学科がある場合のみ）
- 募集期間を過ぎた時点での入学志望校・学科の変更はできません。
- 入学に関する通知は、9月上旬までにご本人あてに書面にて通知します。
- 入学の通知後、指定期日までに授業料の納付がなき場合は、入学辞退とみなします。
- 入学後は、他学科や他校への所属変更および受講はできません。
- 応募が定員に大きく満たない学科は、開講されないことがあります。

